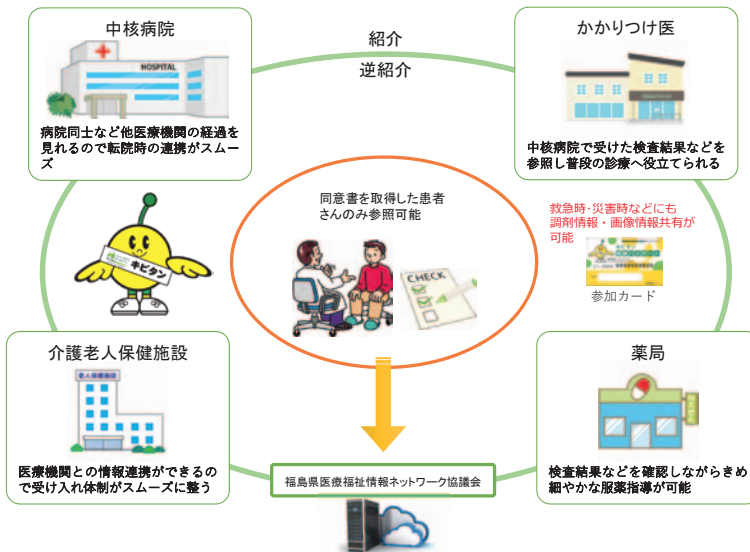


キビタン健康ネットについて



〈診療情報・調剤情報等の共有〉



◇「キビタン健康ネット」とは

福島県内の医療機関、薬局、介護施設等を安全な通信回線（暗号化されたインターネット回線）で結ぶことにより、各施設を受診した際の検査・診断・治療内容・説明内容を、その後の診療に活かすことが出来る地域医療連携ネットワークシステムです。

福島県全域で使えるため、「キビタン健康ネット」に参加している施設間で二次医療圏を超えた医療機関との連携が可能です。

◇「キビタン健康ネット」のメリット

【リアルタイムで情報共有が可能】

- ◆紹介先に入院中の患者の診療情報をリアルタイムに確認できます。
- ◆患者が情報提供病院で受けた検査結果の持参を忘れてしまった場合にも確認できます。

【負担軽減につながる】

- ◆診療情報を共有することで不要な投薬や検査を削減することが出来、患者の負担軽減に繋がります。

- ◆診療情報提供書だけでは情報が不足している場合に「キビタン健康ネット」を活用することで病院に対する問い合わせも減り医療機関間の負担軽減に繋がります。

- ◆紹介や逆紹介の際に検査結果等をDVD等に記録して郵送するところを、「キビタン健康ネット」で確認してもらうことでDVD等の作成作業や郵送の手続きが少なくなり、コスト低減や事務作業簡略化に繋がります。

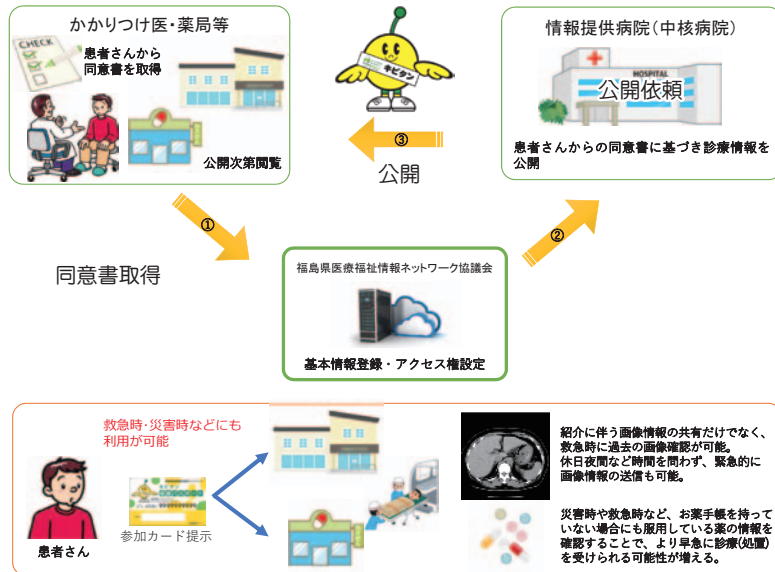
【災害救急時の活用】

- ◆災害時に道路が寸断され、診療所や病院へ行けない状況等の非常事態において、他の医療機関・薬局から診療情報や調剤情報を確認できます。
- ◆救急搬送時にお薬手帳を持っていない場合でも調剤情報を確認できるので、より早急な対応ができる可能性が増えます。

【さらに充実した医療サービスの提供へ】

- ◆医療機関等が「キビタン健康ネット」に参加することで、施設間の密なコミュニケー

キビタン健康ネットについて



ションが可能になります。

◆介護老人保健施設等では、退所後の動向も確認できるためフォローアップが可能です。

◇調剤情報システム

薬局で調剤された調剤歴を確認することが出来ます。調剤情報が時系列で表示されるので、いつからどのような薬を服薬しているのかが一目で分かりやすくなっています。お薬手帳を忘れてしまった場合や、患者がうまく説明できない場合も「キビタン健康ネット」で確認することが出来ます。薬局では、検査結果等を確認しながら細やかな服薬指導が可能です。

◇画像共有システム(2020年より)

DICOM規格の画像を医療機関間で共有することが可能なシステムです。CDやDVDを作成して患者経由で連携先の医療機関へ情報提供していたものを、「キビタン健康ネット」上でアップロード、ダウンロード可能となり、スムーズな連携に繋がります。これまで出来なかった参照施設からの画像提供も可

能となり、紹介時に限らず緊急搬送時にも画像を送信することで患者到着前に確認も可能です。また、遠隔読影システムとして利用することも可能です。

◇キビタンケアネットサービス

「キビタン健康ネット」の回線とは別に、インターネット回線を利用したサービスです。患者の生活状況など、普段の様子や残薬情報等を書き込むことで連携する職員にメール通知され、リアルタイムに共有できます。患者毎にグループを作成し、連携する職員だけでなく、患者家族との情報共有も可能です。チェック項目による簡単な入力をはじめ、PDF等の文書、画像情報を共有できます。「キビタン健康ネット」と併用することでより詳細な患者情報と共に状況把握が可能になります。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新活用事例のご紹介はお休みとさせて頂きました。

